

燕京啤酒 (北京@2007) と、この数年で見た見学可の大手ビール工場 (1/2)

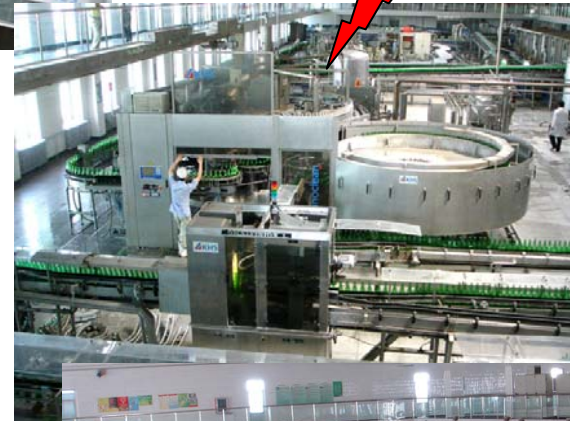
Yanjing Beer, Beijing and
Tour-able major beer brewery
by t.kita. /070620



首都、北京で圧倒的シェアの燕京ビール。中国全土でも青島(チンタオ)ビールについて大きく2006年の生産量は350万トン。国賓を迎えたときなど、政府主催のパーティーに使用されるのが自慢。なお、燕京とは北京の古名。



見学コースにある壺詰め機は、クロネス(左)とKHS(下)で、同時に全く同じ製品をつめている。クロネス、KHSはいわばBMWとベンツ、充填機のトップブランド。稼働率や不良率で競争するだろうし、誠にうまい買い方である。その下の写真は、日本では最近見かけなくなったトンネルパストライザー。

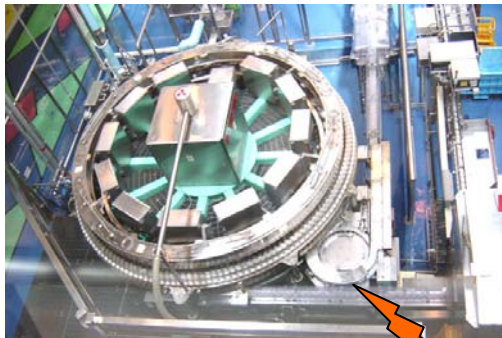


まず案内されるのは、工場の模型の部屋。巨大。左上に競技場まである。ブリューハウスも実に立派。

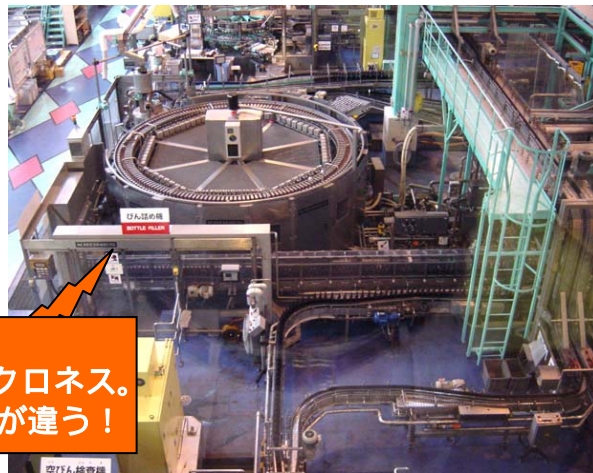


最後はお決まり、ビール試飲と売店です。ここの売店のウリは、自社製の納豆！？前庭にある巨大サボテン。「なんていう種類？」と聞いたら「フェイクだよ〜」。なかなかの洒落、やるじゃない！と感心しました。

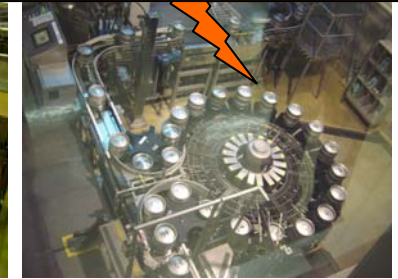
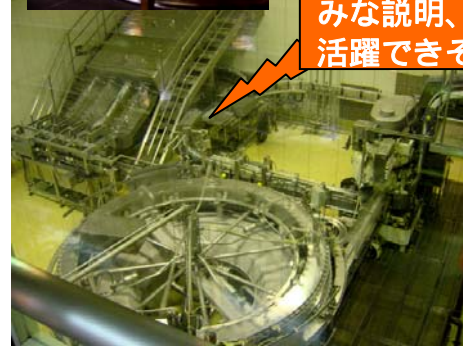




<キリンビール・神戸>
缶充填は三菱重工、びん充填はクロネス。
前ページの燕京と比べると直径が違う！



<サッポロビール・静岡>
樽充填ラインと缶充填ライン。缶ラインには高さの異なる缶種ごとの供給ラインが見える。
見学で最も印象的だったのは、案内嬢。実に巧みな説明、加えて明るく饒舌で、吉本興業でも活躍できそう？でした！



<アサヒビール・神奈川と西宮>
アサヒビールは見学通路からの撮影不可につき、外部からの写真。
2002年開業の神奈川工場のウリは「環境にやさしい」。西宮工場では「この工場のコンペアをヒントにして回転すしが生まれたんですよ！」という説明が印象的でした。



<サントリー(三得利)ビール・上海>
一般ツアー見学可ではないけれど、最新鋭設備ばかりじゃないよ、こんな工場こそ大事では、と思って載録。
古い国営工場を買収して、カイゼンしながら運用。中国従業員のTPM運動の報告や、「改善点」ステッカーがここに。
<http://www.kitasangyo.com/Archive/Data/Shanghai0407.htm>



<オリオンビール・沖縄>
なにより印象的なのは、すばらしい青空と澄んだ空気。ビールがうまい。



<ギネス・アイルランドとハイネケン・オランダ>
も参考に載録。世界中から観光客が訪れるギネスやハイネケンは、見学ルートからビール工場が消滅。古い器具の展示、歴史やブランド説明のテーマパーク&グッズショップと化しているが、かえってお客が集まる感じ。

